

平成29年度 第5回 岡山市浸水対策推進協議会会議録

午前9時57分 開会

○瀬島課長 定刻より少し前なんですけれども、全員揃われたようなので、これより平成29年度第5回岡山市浸水対策推進協議会を開会いたします。

開会に当たりまして、桐野下水道河川局長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願ひします。

○桐野局長 おはようございます。委員の皆様には、大変お忙しい中、第5回となります浸水対策推進協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

前回、第4回の協議会の際に浸水対策行動計画の案ということでお示しさせていただきました。その際に委員の皆様からさまざまなご意見をいただきました。それから、その後、市のほうの市議会のほうの建設委員会にもお示しをして、委員さんのほうからもご意見いただきました。さらに、市の内部的にも再度チェックをしている中で少し直したほうがいいんじゃないかというところもありましたので、そういったところを含めて修正をしてまいりました。本日、再度ご確認をいただいて、またご意見をいただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○瀬島課長 ありがとうございます。

議事に入ります前に、今回全員出席ということで、会議は成立ということをご報告させていただきます。

それとあと、議事に入ります前に、配付資料の確認ということでございますけれども、以前事前に送らせてもらいました資料の中で、資料－1、2、3、これにつきましては、お手元のほうへ配付させておひまして、それと差しかえてもらいたいと思ひます。

それでは、資料としましては、「第4回協議会の議事録」、「議事次第」、「本推進協議会委員名簿」と、あとお手元に配付させておひます資料－1、2、3ということでございますけど、ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、西山会長、今後の議事進行について、よろしくお願ひします。

○西山会長 はい。改めまして、年度末のお忙しいところ、改めて御礼申し上げます。委員の先生方、ありがとうございます。

じゃあ早速、議事を進行していきたいと思うんですけども、毎回でございますけども、この議論いただきます前に、一応この議論の場を公開にするか非公開にするか皆様にご審

議いただきたいと思うんですけども、特に非公開にしなければならないという内容がなければ、いつもどおり公開したいんですけど、委員の皆さん、どうでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 じゃあ、ご同意いただきましたので、公開という形で進めたいと思います。よろしくをお願いします。

傍聴希望者があれば傍聴を一括して許可いたしますので、事務局のほうで随時対応してください。室外待機の方、チェックしていただけますか。おられますでしょうか。

○瀬島課長 傍聴希望者はなしということで。

○西山会長 なしということで、はい、わかりました。ありがとうございます。

それから、前回議事録確認から入ります。

本日の案件、お手元次第のとおりでございますけども、議事の前に前回協議会の議事録について、特に何かお気づきのところありましたら今ご指摘いただきたいんですけども、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 ご意見ございませんようでしたら一応了承という形で進めたいと思いますけども、署名人であります安倉委員、柴山委員、本会議終了後に署名、捺印、是非ともよろしく願いいたします。

また、途中で結構ですので、お気づきのところがありましたら、また随時ご指摘いただいたら結構でございます。ただし、この会議が終わるまでに署名人の方の署名をいただきたいので、ご指摘がありましたら、この会議が終わるまでをお願いいたします。

それでは、議事次第に従いまして、議事1、岡山市浸水対策行動計画2018（案）の説明、事務局の方、よろしく願いいたします。

○山川課長 はい。それでは、議事1の岡山市浸水対策行動計画2018（案）についてご説明させていただきます。

お手元のA4判縦の右肩に資料－1と書いてあります「岡山市浸水対策行動計画2018（案）」とA4判横で右肩に資料－2と書いてあります「行動計画の意見・修正一覧」という資料に沿って説明させていただきたいと思います。

前回の浸水対策推進協議会におきまして、岡山市浸水対策行動計画2017（案）として審議していただいておりますので、今回は行動計画の意見・修正事項を順次、行動計画書に

沿って説明していきたいと思ひます。

まずは、全般にわたる修正点、変更点についてでございます。

行動計画の表紙をご覧ください。

行動計画の策定年が2018年にずれ込みましたので、タイトルを「岡山市浸水対策行動計画2018（案）」に変更いたしております。さらに、中央に写真を配置し、それぞれ河川・下水道の整備、流域対策、浸水対策、避難対策をイメージする写真を4枚掲載しております。

また、行動計画の統一したデザインといたしまして、後ほど中を見ていただければと思ひますが、ページの下部だけではなく、上部にも線を入れ、見ばえをよくいたしました。

それと、コラムにつきましては、本文と見え方を変えるようにということでありましたので、背景を着色するなどして理解を深めるための情報であることをわかりやすくいたしました。

それと、全体的に写真や図面を鮮明なものへ変更し、文字がぼやけている箇所についても修正いたしました。また、図表や写真番号のフォントサイズを小さくいたしまして、タイトルが目立つように変更しております。

以上のデザインの修正点につきましては、徳田委員、齋藤委員、倉森委員に事前に見ていただいでご意見をいただき、修正したものでございます。

次に、文中、何か所も出てきますが、「おおむね20年に1度程度の雨」と「おおむね30年後」で使用しております「おおむね」の意味合いが、降雨確率と期間で混同するため、降雨確率のほうの「おおむね」を全て削除いたしました。

また、行動計画の中に出てきますロードマップ全般についてですが、ロードマップに記載しておりました黒丸は白丸に変更し、三角は全て丸といたしました。

平成はなくなるということでもありますので、表現を見直しまして、年度の表記はやめ、「短期（おおむね5年）」、「中期（おおむね10年）」、「目標（おおむね30年）」としました。

また、フォローアップにめり張りをつける形の計画がよい、岡山市の行動計画などで第三者の確認が要るようなことは避けたほうがよい、また無理な計画ではないかというご意見をいただきましたので、定量的な手法の設定について再考いたしまして、市で進行管理が可能なものは進捗率を残し、市で進行管理ができないものや定性的な目標設定しかできないものについては、本文やロードマップから進捗率を削除いたしました。

以上が全般にわたる修正または変更点でございます。

○西山会長 一応この裏も、これ、マンホール、あれですね。

○山川課長 はい、これは基本計画書のほうでも使っておりましたが、背表紙のほうには岡山市の桃太郎デザインのマンホールの蓋を表示してあります。それと、市の担当部署と連絡先ということを明記させていただいています。では、目次を見ていただきたいと思えます。

第2章全体で対策の種類ごとに河川・下水道の整備、流域対策、減災対策、避難対策の中表紙をつけまして、第2章多数の項目がありますので、めり張りをつけるようにいたしました。また、市民の理解を深めるために巻末に参考資料といたしまして、用語集と防災リンク集を追加いたしました。

2ページをご覧ください。

第1章、浸水対策の基本方針、行動計画の位置づけ、経緯であります。右側の図1-1-2の浸水対策における取り組みの体系図で、計画が掲載されてる場所、第2章の部分ですが、わかりやすいように体系図の右側に関連する本文の掲載ページを追加させていただきました。

3ページをご覧ください。

将来の姿と当面の目標の項で、ここでは浸水対策の基本方針として、岡山市全体での姿を基本計画を踏まえ、短期、中期での目標を定性的ではありますが、定めております。第2章では30年後までに達成すべき目標を掲げておりますが、ここでは目標が達成されたときの岡山市の姿を市民にイメージしてもらうために、「将来の姿」という表現にしております。さらに、枠線を追加しまして、将来を括弧で囲み、短期と中期と並列でないことをイメージするように修正いたしました。

ここまでが全般に関することと第1章の意見・修正事項でございます。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

じゃあ、ここで一旦議論に入りたいと思います。

今回の趣旨は、もう委員の先生方、何回もこの中身見て、あるいは事前にチェックしていただいて、かなりレイアウトもきれいになってまいりました。ただし、今回改めて委員の先生方に集まっていただく今年度最後の機会でございます。ですから、改めて各委員の先生方に見ていただいて、私はこう思うんだけど、どう思いますかと全体合意を諮る場がもう今日最後でございますので、個別に聞いた委員の先生方もおられますけども、本当に

どうでしょうかという、ここを意見を交わす場にしたいと思いますので、遠慮なくご意見、ご発言ください。

全体的にはポイント、レイアウトの部分はあるんですけど、あと定量的な表現もこの後出てまいりますけども、若干、安倉委員からも無理な計画やめなさいという指摘いただいたところもありましたが、それも反映させたつもりでございますので。あと、赤字で追加とか修正点、書いていただいております。特に今までのところで何かお気づきのところ、とにかく入り口のところです。市民は前から当然見ます、市民の方々はですね。非常に大事なポイントが2ページまでありますので、この後具体的に行動計画が出ますけども、全般どうでしょうか。市民の目から見て全体網羅してる内容、よろしいでしょうか。

中身は見ていただきましたように、それがわかりやすくなってるかどうか、もう一度ご判断いただけますでしょうか。

○西村委員 1ページ以降、カラーで非常に何か見やすくなってるんですけど、目次のページが白黒で、何か目次のページが取ってつけたようなイメージを受けてしまうんで、もうちょっとカラフルにといたらあれかもしれないですけど。

○西山会長 どうでしょうか。やはり目次もこのレイアウトに揃えたほうがいいんですね。こういう、こう。

○西村委員 ぱっと見、目次が何かしらちゃけてるというか。

○西山会長 何かデザイン考えましょうかね。

徳田委員、どうですか、何かこう。

ちょっと目次のところで色でも何か囲いますか。

○徳田委員 入れるとしたら、このヘッダーかフッターをつけるぐらいで、黒であることがいいというのは、弱視の人たちというのは、かえって、目次だけ、カラーはあれなんですけど、黒でしたほうが私は目次の部分は探しやすいという点では。

○西山会長 ヘッダー、フッターはあるかと思います。どうですか。こういう色で最初入ってくるんで、目次のここに入れてぐらいかなとは思ったんですけど、それぐらいで。貴重なこういう場にしたいと思ってました。本当にありがたい発言。もう最後、本当に委員の皆さんと意見を交わす最後の場です。

じゃあ、徳田委員、そのヘッダー、フッター、ちょっとここぐらい色を入れますかね、目次に、これに揃えて。

- 倉森委員 私も文字はやはり徳田委員がおっしゃるように黒がいいと思うけど……。
- 西山会長 文字自身はですね。
- 倉森委員 はい。このせっかく4色分けていただいているので、これを何かわかりやすく同じどこかにバックにするんかラインにするんか、何かあれば。
- 徳田委員 ラインがあるとね。
- 倉森委員 そのデザインは徳田委員にお任せしたいんですけど。色で分けてあると全体的に統一するかと思うんですけど。
- 西山会長 これ、事務局、わかりますかね。ここがせっかくこうやってきれいにカラフルにしてるんだったら……。
- 桐野局長 また後で、こちらに入ったときに。
- 西山会長 弱視というのは、さすがに徳田委員はあれですね。ありがたいですね。なるほど。

ほか何かございますかね。

よろしいですか、3ページ、4ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 そしたら、また後で全体見るときもありましょうから、先にじゃあ進めて、次、お願いします。

○山川課長 それでは、5ページをご覧いただきたいと思います。

ここからが第2章、施策ごとの行動計画で、第2章は掲載している内容が多いため、体系図のどの箇所に当たる内容なのかがわかりづらいとのご意見がありましたので、このページを追加いたしまして第2章の内容が体系図の項目ごとに記載されていることを追記させていただきました。

また、6ページからは河川・下水道の整備の河川整備、下水道整備、貯留施設の整備の項で、この中表紙を新たに追加いたしております。

7ページをご覧いただきたいと思います。

河川整備で、国・県管理河川の整備につきましては、期成会等を通じて着実な整備がされるように要望することを基本計画に書いてありますように同等に記載をさせていただきました。

また、8ページから11ページまでは、市が主体的には行わない国や県の事業でありますので、周囲を青色枠で囲み、体裁を変えて、他との差別化を図っております。さらに、記

載内容につきましても、河川整備計画の目標や図面をそのまま掲載することといたしました。

12ページをご覧くださいと思います。

このページ以降、第2章全般に出てきます「【目標】おおむね30年後の姿」という表現は、100%達成することが目標であり、10年で達成できるものもあるので、「目標」のみでよいというご意見がございました。確かに概ね10年で100%となる項目もありますが、初めに岡山市の30年後の姿をお示しし、それに向けて短期、中期で達成すべき目標を設定していることから、現行どおりとさせていただきます。

14ページをご覧くださいと思います。

この項で、中期の目標に浸水常襲地区において順次排水機場を整備とあり、具体的な計画があるのかというご意見がありました。この浸水被害がある地域で河川の排水機場整備が有効な地区において順次整備を進めるというふうに文章を修正いたしております。また、国所管の排水機場数を間違えておりましたので、訂正いたしております。

次の15ページでは、排水機場の一覧表よりも位置を掲載したほうがわかりやすいというご指摘がございましたので、一覧表を削除いたしまして、河川の既設排水機場の位置図を掲載いたしました。

17ページをご覧ください。

下水道整備の項ですが、こちらに掲載しております位置図が前回地図がぼやけていて見にくいというご指摘がございましたので、図面を鮮明なものに差しかえました。また、ロードマップのうち、中央・巖井排水区は定量的な効果を示せないことから、表現を定性的なものへ変更いたしております。

20ページをご覧くださいと思います。

こちらも同様に図を鮮明なものに変更し、図中の排水区を明示している破線の色が短期を示す赤色と同色でありましたので、色を変更いたしております。ちなみに、この後に出てきます21ページ、22ページ、23ページ、24ページの図面についても、同様に鮮明なものに変更いたしております。

28ページをご覧くださいと思います。

ここからが流域対策の既存ストックの有効活用、農地・森林・緑地の保全、公共施設における貯留浸透施設設置、民間施設における貯留浸透施設設置の項で、この中表紙を追加しております。

次の29ページは流域対策全体イメージ図で、流域対策とはどのようなものかイメージがしづらいことから、イラストによりまして流域対策をイメージできるようなものを作成しまして、ここに追加しております。

30ページは既存ストックの有効活用についてですが、市民目線では既存ストックがわかりにくいので、既存施設という言葉を追加してはというご意見でございましたので、追記し、あわせて用語集を作成し、巻末のほうに掲載いたしております。また、何をしているのかわかりにくい写真は削除するよというご指摘もありましたので、中段にあります写真を下水道管内の作業前、作業後の2枚だけいたしました。

34ページをご覧ください。

こちら、雨水取水ゲートの遠隔操作化で、市民がゲート操作をしていることの説明と、農林用のゲートと混同しないような書き方をというご指摘がありましたので、雨水取水ゲートの操作は地元へお願いしていることを記載、実施箇所数の表現の修正、雨水取水ゲートとは下水道の施設であることを追記いたしました。

さらに、次の35ページにコラムといたしまして、農業関係の樋門と区別できるように、下水道の雨水取水ゲートについての説明と一覧表を新たに作成して追記、掲載しております。

続きまして、36ページです。

児島湖、用排水路、ため池などの水位事前調整の項ですが、児島湖は県が管理し、市が主体で行っていないというご指摘でございましたので、県が行う水位調整の取り組みに市として協力するというような書きぶりに修正いたしました。また、事前態勢のフロー図を掲載しておりましたが、本文と関係ないので不要ではというご指摘がありましたので、削除いたしております。

続いて、37ページでも同様にフロー図がありましたので、それも削除いたしました。さらに、関係課と調整したところ、用水路の水位調整についてマニュアル化は困難であることから、「マニュアルを整備する」から「体制を整備する」に修正し、水位調整の取り組みの継続や体制を強化することを記載しました。また、この項の中でため池の有効活用について記載をというご意見がございましたが、関係課と再度調整しましたが、結果、掲載は見送ることいたしました。

38ページの農業用排水路等の維持管理の項では、長寿命化計画策定ではなくデータベース化を進める方針に変更し、効率的かつ効果的な補修や更新整備を進めるという表現に変

更いたしました。さらに、浚渫の取り組み内容を具体化したほうがよいという考え方から、特別浚渫をどのような箇所を実施するかを記載いたしました。

39ページの道路施設の排水機能確保のための維持管理の項では、図2-4-15のロードマップのところ、市民のところ印がない、市だけがやるということなのかというご指摘があり、市民の欄にも丸をつけております。

○西山会長 はい、一旦ここで議論に入りたいと思います。

2章の部分がありますが、大体5ページから始まって、今までのところご説明いただきました。前から順番に見ていただけますでしょうか。大体これでどういうところの修正いただいたか大体全体のポイントは委員の先生方、把握していただいたと思いますが、まずランダムで結構ですので、今までの説明、何か気がついたなというところがありましたら。

○徳田委員 表のところの写真を前、表紙が影がついてたのを表へ影とりましようと言ったのに、ここには入ってるんです。別にこれでもいいんですけど、どっちがいいのかな、皆さんの意見を。

○西山会長 ここ、3次元ですね。

○徳田委員 あえてとったんですけど。

○西山会長 これはとりましよう。

○徳田委員 デザインなんですけど、どっちがわかりやすいのか。

○西山会長 徳田委員はとりましようと言っていたいてたんですよ。

○徳田委員 表紙はとったほうが、ぱっと見えていいかなと思って。中ページは別にあってもいいような気もしますし、特に何も感じなかったら、このまんまでいいですよ。

○西山会長 もう徳田委員、ここでお決めいただいて。

○徳田委員 私はとったほうがきれいだと思います。

○西山会長 じゃあ、とりましよう。

○徳田委員 はい。

○山川課長 表紙と同じような構図にさせていただきたいと思います。

○西山会長 はい、齋藤委員、じゃあお願いします。

○齋藤（美）委員 すみません。中表紙の件、ちょっと私も気になったところがありまして、ちょっと中表紙に見えないというのがあります。恐らくヘッダー、フッター、ページは中表紙という性質上、不要かなということと、先ほど倉森委員から目次の色を要は2章

がこれが青、緑、黄色、赤という、これが連動しているわけですから、中表紙にもこの色
をポイントに使われるというほうが、せっかく長い2章をグループ分けして下さっている
ので、ここで色を使わないともったいない。紫色ではなくて。そこは連動しているとい
うことで、視覚的に理解が進むんじゃないかと思います。

○徳田委員 水色にする、これ。

○齋藤（美）委員 ここはそうですね。また、次の中表紙は黄色にするというふうにされ
ると中表紙に見えてくるような気がします。

○西山会長 これはもう各委員、ご異論ないと思いますので、最終チェックはもうまた徳
田委員、齋藤委員にお任せしますので、今の意見は採用ということで。

○桐野局長 はい、わかりました。

○徳田委員 レイアウト上、中身がない。

○西山会長 これ、どうですか。いいんですか。この説明、要らない。大丈夫。

○徳田委員 写真の。

○西山会長 くどいかもしいないですけど、何してると。それはいいですか。特段いいで
すか。なかったら、もうこれでいいと思うんですけど。

○徳田委員 この写真がこの中に説明のところに出てきますかね、この写真。

○河原審議監 ないですね。

○徳田委員 ない。だったら、表紙にも使われてるので、あってもいいかなと思う。

○西山会長 これ、実際何してる写真ですか。

○河原審議監 これは今、南の浦安のほうの下水の、結果的には開水路になりますけど、
下水の水路を工事をしているところなんです。まさに今工事をやっているとところから。

○西山会長 何かちょっと……。

○河原審議監 そうですね。それぞれの表紙で、一応イメージとしては下水道・河川、減
災とかでつくってるんで。

○西山会長 これのイメージですね。

○河原審議監 そうですね。これのイメージで何をやってるか、説明書きを入れます。

○西山会長 そこも徳田委員、齋藤委員に見てもらってください。

さて、7ページから、いよいよ県管理、国管理の部分、出てきます。安倉委員、柴山委
員、どうですかね、このあたり。

はい、お願いします。

○柴山委員 細かい文言の話で恐縮なんですけど、主要な国管理河川整備計画(1)ということでタイトルついてるんですけど、旭川と吉井川だともう全部載ってますので、特に「主要な」はなくていいかなというのが1つと、「国管理河川の河川整備計画」というふうに書いていただいたほうが、余り使わない用語なんで、国管理河川整備計画というのは。そこは修正したほうがよろしいと思いました。

○西山会長 「主要な」、削除、国管理と河川の間に「の」。

○柴山委員 国管理の河川整備計画。国管理河川の河川整備計画。

○西山会長 なら、県管理も同じですかね。

○安倉委員 県はいろいろありまして、タイトルで別のところをお願いしたいのがあります。

○西山会長 はい、わかりました。じゃあ、8、9、まずここ、修正お願いします。

県から見て、何かありますか。

○安倉委員 お願いしたいのは、さっき事務局さんの説明、それぞれの河川整備計画から転記されたということで、それはそれで間違いじゃないんですけども、若干変えていただきたいところをお願いしたいと。10ページなんですけど、まず目標のところの台風20号が括弧書きで洪水の原因、書かれているんですけど、ここだけ洪水原因出されて、ほかの項目ではないんで、同じようにこの箇所は再度削除していただければと思います。

それと同じようなことなんですけど、11ページのこれも目標のところなんですけど、11ページは既往最大降雨であるというふうな書き方をさせていただいてると思うんですけど、これは当時こういう表現が主流であったと。実際はその前にありますようなことが、あるいは国で書かれておるような戦後最大規模の洪水であるということが同じでございまして、既往最大降雨はちょっと誤解を招くのもどうかなと思いますので、同じ表現にさせていただければと思います。ですから、「戦後最大規模の洪水である昭和60年6月洪水」というふうに変えていただければと思います。

○西山会長 表現が9ページのところに戦後最大規模の洪水であると。

この同じ表現ということですね。

○安倉委員 ええ。11ページをしていただきたいということでございます。

○西山会長 よろしいですか。

○桐野局長 はい。

○西山会長 「である台風20号」と10ページへばいっと出てくると。出てくるので、ここ

だけ出て……。

○安倉委員 別に出ててもいいんですけども。

○西山会長 はい、そうですね。

○安倉委員 ほかのも出したほうがいいのかなとなってもあれなんで、もう余り……。

○西山会長 おっしゃるとおり、おっしゃるとおりですね。特に内水が出てきますので、これからゲリラ豪雨の時代ですので、混乱させないようにというところで。

じゃあ、ほか、県、国、何か西村委員あります。

○西村委員 7ページの本中の絵の中に締め切り堤防、黒線1本でいいんで、締め切り堤防のイメージだけちょっと入れてほしいというのと、それから細かいことで、すみません。29ページの絵の中の締め切り堤防も全体が樋門になってるんですけど、上下堤体に描いてほしいなと土木屋としては思うんですが。

○西山会長 わかりますか、29ページ。これは創作したのかな。西村委員、もうちょっと具体的に言ってあげてください、29ページ。

○西村委員 29ページの締め切り堤防の絵があるじゃないですか。これが全面樋門になってるんですけど、上と下を堤体に。もうちょっと何か土木屋としては、ちょっと違うかなというイメージがあったんで。

○河原審議監 すみません。恐縮ではあるんですけど、イメージ図というところが前提で、言われるように確かに児島湖のところをイメージして描いたんですけど、これは基本計画に同じものを掲載しているものをここへ載しちゃってます。ちょっと検討はしてみますけど、今回修正ができるかどうかは申し訳ないです。

○西村委員 児島湖と児島湾と書いてあるから、もうそこを思っちゃうんですよ。

○河原審議監 イメージ図のポンチのイメージでだんだんつくっていったんですけど、やはりもう少しリアルに岡山市に似せようということで絵が進化してきました、イメージ図と岡山市をかぶらせちゃってるんで、ここは本当言われるところのご指摘だとは思いますが、すみません、もう基本計画のほうへこの元図を掲載しちゃってるものですから、できればこのままで。

○西村委員 わかりました。もう専門家から見ても、そのとおりですね。ただ、市民に誤解がなければということで、西村委員、これでいかせていただきたいと思います。ご指摘は本当ありがとうございます。

ほか全般通じて何かございますか。

はい、齋藤委員、お願いします。

○齋藤（光）委員 すみません。さっきの中表紙のところにちょっとページが戻っちゃうんですけど。項目が黒ぽつで、例えば6ページですと河川整備、下水道整備、貯留施設の整備というのは黒ぽつになってるんですけど、これを目次の例えば番号の2-1とか2-2とか2-3に合わせないほうがいいですか。

○西山会長 これは合わせましょう。はい、これは合わせましょう。ご意見いただきまして、ありがとうございます。

○齋藤（光）委員 全般的に現状、短期、中期と進捗率という数値が出てくると思うんですけども、例えば71%とか39%とかすごく細かい数値が出てるんですが、これはやはりそこまで細かくしたほうがいいのかというのが、ちょっとばあっと見てて気になったんですけど。

○西山会長 これを入れると何か厳密に計算したような。目標がひとり歩き。

○齋藤（光）委員 1の位がすごい細かくね。

○桐野局長 現在出してる数字は、もちろん分母、分子があって、それでだしている数字ですんで、今後そういった管理をするに当たっても分母、分子で出せる数字ではありませんんで。

○齋藤（光）委員 はい、じゃあこれで。

○西山会長 委員のご指摘は、ちゃんと根拠があれば。数の話ですね。ですから、全体何個あって、このうち何個直すという割り切った数字ですよという形ですので。齋藤委員、ご理解いただけますよね。

○齋藤（光）委員 はい。

○倉森委員 18ページのコラムのところに雨水管渠の絵があるんですけど、この絵が割とたびたび出てくるんで、私は素人なんでよくわからないところもあるんですけど、34ページに出てきて、その次のコラムのページにも出てくるんですけど、ぱっと見たときに何が違うのかなといえますか、出てくるのはいいんですけど、全部に必要なのかなというのが1個思ったところと、あと「幹線雨水管きよ」というのと「雨水幹線管きよ」というのがあって、後ろの索引には「雨水管きよ」というのが出ているので、ちょっと細かいんですけど、「幹線雨水管きよ」に統一したほうがいいかなというのと、あとどこだったかな。どこかに。すみません、ページがわからなくなって、後ほど。どこかに……。

○西山会長 はい、わかりました。まずじゃあ、そこでとめて。これ、低段系ばかり出て

くるんですよ。

○倉森委員 すごいこれが大事なんだろうなという印象です。

○西山会長 西村委員、どうですかね。言われれば確かにいっぱい出てるんですよ。

○桐野局長 そうですね、文言のほうは。この図としては、浸水対策として下水道の管を利用してますと言いながら、岡山市の場合、純粋な用排水路ですね、そういったところが排水のメインを担ってるわけなんです。そういった中で特に浸水のひどいところについては下水道管を今入れていっていると、市からですね。ですから、あくまで上の用水路を伝って流れている水を途中で下水道管の中へ落として浸水対策としているんですというふうなことをわかっていただきたいということでお示ししてる部分です。

○倉森委員 はい、わかりました。雨水管渠が赤い丸というのがすごく目を引くので、34ページ、35ページは基本的にはゲートの話かなという気がするんです。これが赤であるほうがいいのかどうか私が理解ができないというところですので、とってほしいとかそういうことではなくて、ゲートを赤にしたほうがいいのかなとか何となくイメージの話ですけど。

○桐野局長 はい、わかりました。

○倉森委員 あと、すみません。21ページの短期のところ「雨水きよ」となってるのが「雨水管きよ」なのかなと思うんですけど、真ん中辺で。

○河原審議監 はい、わかりました。

○西山会長 そうですね、そうですね。これ、全部「雨水管きよ」。**【目標】**のところにも「管きよ」が出てくるし、ちょっと文言はチェックですね。「雨水管きよ」ということですね。どうですか、これ。

○山川課長 この用語として下水の専門用語的にはなるんですけど、「雨水きよ」というのが中表紙で使ってる写真のような開水路というのを示したもののなんです。「雨水管きよ」というのは先ほど出てきました低段系の……。

○西山会長 いや、ご指摘、だから市民が見て「雨水きよ」と「雨水管きよ」と区別がつくかというご指摘ととってください。どう違うのというのが混乱しないようにと。だから、文言統一よりも、きちっとそこが。どうしますかね。後で入れますか。用語集かな。用語集のほうで対応という形で。

○倉森委員 「幹線管きよ」というのも出てくるんで、ちょっとその辺が素人目線でちゃんと読もうと思ったときに難しいなというところですよ。

○西山会長 これは一応専門用語なんで、用語集でやはりひとつ触れたほうがよろしいか
と思いますね。

○倉森委員 先ほどの徳田委員の弱視の方とかという話で、表の中に青字、黄色字、赤字
で書いてあるのは、このままで。私は黄色がじっくり読まないとちょっと見にくいなとい
うところがあるんですけど。

○西山会長 もうどこもそうですね。まあ代表的な。あるいは、22ページも青字がある、
黄字があると。

○倉森委員 この辺が、一部、22ページは黒で書いてある。あ、これは黒の表だからです
かね。

○西山会長 でも、ですから文字は黒のほうがいいですかね、徳田委員。

○徳田委員 黄色で書いたり緑で書いたりする場合に、周りに黒で囲えば一応見えるんで
すよね。でも、フォントだったらできないかな。多分できると。

○西山会長 色分け、枠はいいとしても文字は黒のほうがいいんじゃないですかというこ
とですね。

○齋藤（美）委員 ふち囲みの文字は多分もう図が汚くなるんで、このフォントサイズだ
と黄色を黒で囲まないほうがいいですよ。

○徳田委員 うん。

○齋藤（美）委員 だから、背景を黄色で引いて文字を黒にするとか。明度差がないと読
めないという感じ。

○西山会長 少しこれは、じゃあまたご指摘いただけますでしょうか。このあたり、また
徳田委員と齋藤委員のご意見伺ってください。これは私も見落とした点がありますので。
確かにそういう目線が必要だというのはよくわかりますので、よろしくお願いします。

○齋藤（美）委員 20ページから数ページの間にポンプ場とゲートの設置のところはずっ
と図面入ってるんですけども、㊦、㊧が見えないので、これは丸の中を黒塗りされたほ
うがいいかなと思うのと、ただPが何かもともとの地図にあるのは、丸の中にもう一回㊦
になってる。これは何か統一する必要があるんでしたら、凡例といいますか、同じ地図上
に違うPが出てこないほうがいいのかなど。これは意味が違うのか私は理解ができなくて
申し訳ないんですけども、見やすく誤解なく表示いただきたいと思います。

○西山会長 丸で囲んだPの文字ですね。これ、何か意味あったんですかね。マルマルP
になってますけど、特にないですね。

○桐野局長 はい、ないです。

○西山会長 じゃあ、対応可能ということで、ご意見拾わせていただきます。ありがとうございます。

○柴山委員 20ページのところの図なんですけれども、川のところで旭川国土交通省というふう書いてある。もともとの図がこうなっているんですか。国土交通省ともし上からかぶせてるんなら特に要らないのかなと思いましたが、どうなんでしょうか。

○桐野局長 すみません。元図がこういった元図なんかを確認させていただきます。

○西山会長 川の名称ですから、別に省庁書かなくてもいい。

○柴山委員 というのが1つと、あと細かい話なんですけど、36ページのところで、水位のところTPと書いてあるんですが、これというのはドットとかなんか言ってなかったかね。T. ……。

○西山会長 そうだね。T. P、略称ですから、そうですね。

○桐野局長 申し訳ありません。これも元図が……。

○西山会長 何か元図から引っ張ってきたんですね。

○桐野局長 ええ。そのまま多分使ってるんだと思うんで、もしかしたらちょっと修正は難しいかもしれません。ご指摘はお受けしました。ありがとうございます。

○西山会長 これ、元図のチェックになりますね。元図がそうなら、まあそれでいいかと思しますので、チェックだけしてください。

さっき安倉委員から農業排水路のところ、西村委員、何か農業排水路とか農業のところのため池とかで気になるところございません。大丈夫ですか。

○西村委員 大丈夫です。

○西山会長 はい、そしたら少し時間も押してますので、また後、全体見るときあると思いますけども、後ろから見て、また前が気になるところが出てくるかと思しますので、じゃあ引き続き2章残り、お願いいたします。

○山川課長 はい。それでは、44ページをご覧いただきたいと思います。

農地・森林の保全の項でございます。

目標の2つ目と3つ目の項目は、前回では1つの項目といたしておりましたが、森林公園の管理と林道等の維持や森林境界の確認は目的が異なっておるため、項目を2つに分けて記載することといたしました。現状、短期、中期のほうも、あわせて項目を分けて記載をしております。

46ページをご覧くださいと思います。

公共施設における貯留・浸透施設の設置で、目標に設定いたしました設置箇所数と合計貯留量について見直すとともに、算定した条件を例示しました。また、表2-6-1の市管理施設の内訳の表についても修正いたしております。

48ページをご覧くださいと思います。

こちらは市管理の施設（学校）における雨水貯留・浸透施設の項であります。下水道河川局以外が小学校に設置しております雨水貯留タンクが6個ございます。それを計上しておりませんでしたので、実施箇所数を修正しております。あわせて進捗率のパーセンテージも直しております。

次の49ページをご覧くださいと思います。

透水性・排水性舗装の採用の項ですが、ページ中段に記載しておりました「排水性舗装の計画」という項目がございましたが、短期、中期に記載していた内容と重複しておりましたので削除し、排水性舗装による貯留効果の例に変更いたしております。

右側の50ページをご覧くださいと思いますが、国等公共機関の管理する施設における雨水貯留・浸透施設の項ですが、ページ中段に具体の施設の写真を掲載しておりました。その施設で雨水貯留施設を実施することが決まっているかのような誤解を与えるおそれがありますので、それを避けるために削除いたしました。

51ページは民間施設における貯留浸透施設の設置の項で、イメージ写真などを載せるより事業者が何をすればよいのかを表現すべきという意見、また情報を盛り込み過ぎないで、どこを見ればよいのかわかるようにとのご意見がございました。イメージ写真を削除しまして、手引きをご覧くださいのためのホームページのURLを新たに掲載いたしております。

右側の52ページをご覧ください。

戸別住宅等における浸水被害軽減対策に対する助成等の項で、雨水貯留タンクの申請件数を12月28日までの件数という形で時点修正をいたしました。あわせて目標の数値の設定根拠の説明を追加いたしました。また、パンフレットや写真を削除いたしまして、手続の簡易なフローや助成制度の説明を追加するとともに、ホームページのURLを掲載いたしております。

○西山会長　ご専門の委員の先生方おられますので、改めまして40ページからですか、41ページからですね。2-5、42が始まります。この後、2-6、貯留が来まして、開発

阻害行為に対する規制とかそういうものに絡むところがございますので、少し見ていただけますでしょうか。黒田委員は前回ご欠席で、初めて見たところがあるかもしれませんけども、川上委員、黒田委員、倉森委員、かなり開発者の方々がこれを見て把握できるようという趣旨で修正していただいております。お気づきのところありましたら。

それからあと、50ページはまた県と国の文言が出てまいりますので、是非とも柴山委員、安倉委員に見ていただきまして、そごがないかどうかチェックいただけますでしょうか。

なかなか49ページの排水性舗装をやるといっても、ぴんとこんところあるかもしれませんね、写真ね、普通の舗装と何が違うんという話で。何か途中から密粒で途中から排水性で、雨降った後の写真とかあればね。あるんでしょうか。

○齋藤（光）委員 このページの図の2-6-4と模式図が排水性舗装構造概念図というのが文字が少し小さいのと白黒なので、少し鮮明にさせていただいたほうが見やすいかなという気がしました。

○西山会長 そうですね、はい。排水性を載せるんだったら透水性も載せたほうがいいかもしれませんが、どうですか、委員の先生方。いいですかね。底まで行くのが透水性で、途中で抜くのが排水性なんですけど。専門的、このままでよろしいですか。

じゃあ、齋藤委員のちょっと絵をきれいにしてくださいというのは、確かにそうかも。そこだけ拾い上げますので、お願いします。

○山川課長 はい。

○西山会長 50ページ、県、国の文言が出てるところ、よろしいですかね。

51、52ページ、川上委員とか倉森委員、どうですか。どうですか、趣旨は拾えてくれると思いますか。大丈夫ですか。

○倉森委員 はい、いいと思います。

○川上委員 はい。

○西山会長 はい、それでは54ページから減災対策に入りますので、引き続きお願いします。

○山川課長 はい。54ページ、こちらからが減災対策の事前の情報周知・啓発、防災資機材の配置・支給、地域づくりの啓発・促進の項で、この中表紙を追加しております。

55ページをご覧ください。

情報の事前周知・啓発についてで、防災意識をもう少し強目の表現でというご意見で

ございましたので、市民や事業者が主体として行うべきことを本文に盛り込むこととし、目標を出前講座の開催数から出前講座を通じて市民にどのような意識を持ってもらうかに変更しております。また、ハザードマップの図を載せておりましたが、内水ハザードマップが検索できるようにホームページのURLを追加いたしております。

次に、右側の56ページをご覧ください。

防災資機材の配置・支給についても、同様に地下街防災体制の構築（共助促進）においても、目標の文章の書きぶりを変更し、誰がを明記することとし、ここでは地下街管理者がということ明記いたしました。

続いて、58ページの水防資機材の支給（自助支援）においても、市民、事業者が行うことという項目を追記しております。

続きまして、60ページの地域づくりの啓発・促進、地域防災体制の構築（共助促進）においては、自主防災会をどうやって意識を高め、組織をつくるのかが問題であるとのことご意見がありましたので、市民は自主防災会などの取り組みを積極的に活用することを追加して記載しております。

また、次の61ページのほうに自主防災組織の必要性和自主防災組織をつくるにはどうすればよいかという内容のコラムを新たに作成して追加しております。

続きまして、62ページをご覧ください。

ここからが避難対策の効果的・効率的な災害情報発信、避難体制の整備・周知の項で、この中表紙を追加しております。

63ページをご覧ください。

効果的・効率的な災害情報発信、気象情報、河川、児島湖水位、雨水幹線水位、避難情報等の情報提供の項で、目標の文章の書きぶりを市民が主体的に行うこととわかるように文章を修正しました。また、短期、中期の目標に市民が主体的に行う内容についてを追記いたしております。

右の64ページのほうでは、具体的な取り組みの内容の整理が必要とのことご意見から、岡山防災情報メールのイメージの掲載場所を次のページの2-11-2から、こちらに変更いたして記載しております。

続きまして、65ページ、水防に対する意識向上対策の検討では、防災まちづくり学校より公民館の防災活動を紹介してほしいというご意見がありましたが、市の公民館全体の取り組みではなく、個別の公民館が独自で実施しているということなので、今回の行動計画

への掲載は見送りとさせていただきます。また、防災のことで学校教育にもう少し踏み込めないかということでございましたので、学校安全アドバイザーを派遣し、児童、保護者、教職員等の防災知識の向上を図ることとして、学校との連携についてを追記いたしました。あわせて、市民が行うべき取り組みも追記いたしております。

右側の66ページでは、具体的な取り組みの内容の整理が必要と。具体的な取り組みを、出前講座から防災まちづくり学校、防災士養成講座、自主防災組織の結成促進及び活性化に変更いたしまして、69ページの2-12-2の項から、こちらのほうへ移動させております。

続きまして、67ページの洪水ハザードマップの活用（自助・共助啓発）の項では、市が市民へ啓発する手段の記載がないことから、啓発の手段として出前講座により市民へ啓発することを記載し、目標を市民が認識することとして書きぶりを修正、短期、中期の目標に市民が行うべき取り組みを追記いたしております。

68ページの避難体制の整備・周知、市の水防体制の強化等（タイムライン）の項では、中段に記載がありました具体的な取り組みを削除いたしまして、図を見やすく、わかりやすく変更いたしました。また、タイムラインについての説明を掲載するようというご意見がございましたので、このページではありませんが、巻末の用語集の78ページと防災リンク集の84ページに掲載いたしました。

次に、69ページです。

防災活動を通じたコミュニティの形成で、市民、事業者それぞれが取り組むべき具体的な目標の記載がないとのご指摘がありましたので、それぞれの目標について主体を具体的に記載した取り組みを追記いたしました。

また、70ページには具体的な取り組みの出前講座の掲載場所を66ページの2-11-2から移動し、このページに記載することといたしました。

続きまして、71ページは自主防災組織や消防団等と連携した防災訓練実施の項であります。市民・事業者が具体的にどのようなことに取り組むかが示されていないというご指摘でありましたので、目標では市民と行政が連携することを記載し、市民が目指すべき姿を記載しております。また、短期、中期目標では、市と市民の取り組みと市民・事業者が取り組むべき事項を追記いたしております。

ここまでが第2章の意見・修正事項です。

○西山会長 ありがとうございます。役割のところにも市、市民、事業者とありますが、3

つ丸がついてるところに入ってまいりました。それが2-8、2-9から続けて出てまいります。是非ともまた市民目線という観点から委員の先生方のご意見いただきたいんですが。ランダムで結構です。お気づきのところから、前からじゃなくて結構ですので、ありましたらご発言をお願いします。

やはりこの54ページ、これは何してるか、ちょっと要るね。何かごみ拾いしてるみたいな。何かの実施状況。はい、倉森委員、お願いします。

○倉森委員 すみません。ちょっと戻るんですけど。2-7の先ほど51ページの一番下なんですけれども、図が2-6-7というのが2-7の何かになるのかなと見直して思ってたんですけど。

○西山会長 この番号ですね。

○倉森委員 はい。その次のページの52ページも2-7-1とか2とかかなと。

○桐野局長 すみません、ありがとうございます。

○倉森委員 66ページに写真を3枚載せられてるもの、記載が「防災士養成講座」と一文あるんですけども、上に具体的な取り組みが3項目あるので、何か「市民の取り組み」とかという漠然としたもののほうがいいのかという気がするんですけど。

○西山会長 わかりますかね。66ページ、写真2-11-1。

○徳田委員 70ページにある写真と多分こっちの66ページの写真、位置は違うものの同じ会場だと思うんですね。

○西山会長 まず、66ページ、事務局の方、わかりますかね。具体的な取り組み①、②、③とあるけども、写真が全部、「防災士養成講座」になっておると。

○倉森委員 防災士養成講座なのかなと思うんですけど、「市民の取り組み」みたいな…。

○西山会長 漠然とした、3つ網羅したような表現のほうがいいんじゃないかという。それから、徳田委員から70ページのところ、同じなのに70ページの写真のほうは「出前講座」と書いてて、何か66ページ、そういう意味で防災士と。ですから、70ページのほうも変えるというよりも、こちらのほうの66ページのほうを「市民の取り組み」という。防災士が特定されないほうがいいのかもかもしれません。ご意見ありがとうございます。

このあたり、ここは是非、はい、じゃあ齋藤委員、お願いします。

○齋藤（美）委員 66ページ、今の70ページ、72ページと具体的な取り組みがそれぞれ書かれていて、よいと思うんですが、70ページの具体的な取り組みが出前講座のみなので、

具体的な取り組み（出前講座）となっているんですが、防災訓練も含んで、さまざまな活動を具体的な取り組みというのであれば、①、②とほかのページのように箇条書き番号をつけて具体的にこんな例がありますというふうにしたほうが見やすいのかなという気がしました。出前講座に包括しないで、できるだけ具体的な。

○西山会長 特に69ページのところにいろいろ書いていただいていますので。

○齋藤（美）委員 はい。写真があるないにかかわらず、もし写真のキャプションはもう網羅した名前をつけるのであれば、特にこの写真と対応しなくてもいいので。

○西山会長 おっしゃるとおりですね。

○齋藤（美）委員 ①、②、2つぐらいの具体例があると市民はイメージしやすいのかなと思います。

○西山会長 69ページから拾っていただけますか、活動を少し。

○桐野局長 はい、そうですね。

○西山会長 はい、具体的な取り組み、箇条書きで結構だのご指摘なので、お願いします。

とにかく前回のこの場でも、市民にきちっと役割がわかるようにというご指摘は随分いただいたところでございます。改めて市民の方の目線から見て、市民が自分たちの役割というんですかね、かかわってるというのがわかる形になってるかどうか、そういう目線でもう一度見ていただきたいんですけど。

○徳田委員 これだったら、70ページの写真も具体的な取り組みの写真が2枚だけだったら余りやってない感があるので、もしあと2枚あれば。

○西山会長 空白を埋めろということで。

○徳田委員 そうです。やはり市民は写真のところに必ず目が行くので、ああ、こんなこともやってるんだというところをアピールするには写真使ったほうがいいと思うんで、勉強してるだけじゃなしに、町歩きをしてる写真なんかがあるといいかなと。多分危機管理が持つてると思います、マップづくり。

○西山会長 結局この資料は徳田委員から市民の啓発に使いましょうということですので、できるだけもう空白を埋める形で、くどいぐらい載せて。

○桐野局長 市民の皆様が参加しやすくなるような雰囲気を出すことも重要だと思いますので。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

はい、それでは柴山委員、お願いします。

○柴山委員 57ページのところで、国土交通省の写真、多分ホームページから、本当にホームページですかね、とってきた写真だと思うんですけど、「出展」の漢字が間違っているの、で、「出展」が展覧会の「展」になってるので、1つ指摘させていただくと、ホームページだったら、国交省ホームページとかと書いたほうが。国土交通省というよりは、国土交通省ホームページがいいかと。はい、すみません。

○西山会長 じゃあ、そのご意見いただきますので、修正をお願いいたします。

○徳田委員 下の図、もうほとんど高齢者、読めないんですよ、文字が。だから、空間がちょっとあいてるんで、右も下もあいてるので、この図をちょっと広げてみてもいいのかなと。

○西山会長 ちょっと検討いただけますか。

○桐野局長 はい。

○西山会長 じゃあ、それ、もういただきますので。

どうですかね、言葉遣いで何か勘違いされないとか大丈夫ですか。

じゃあ、前半のところは、これまでご意見いただいた、主に市が責任を持ってやる部分が非常に多かったんですけど、ここは市民に対して啓発になりますので、是非とも気になる表現とかもあったら、積極的にご発言いただきたいんですけども。

○倉森委員 69ページの自主防災会組織率というところが「再掲」になってるんですけど、その前の再ではない、もとがどこかあるんでしょうか。

○西山会長 わかりますかね。69の括弧の中、「再掲」、再び掲載となっておりますけども、69ページ、上の括弧の中にも「再掲」と書いてあるのがあって。

○桐野局長 60ページのほうで掲載をさせていただいてます。

○倉森委員 わかりました。避難対策より後ろにありました。

○西山会長 どこか対応させたほうがいいですかね。どうですかね。

○倉森委員 この「再掲」が要るのかなというのをちょっと。

○西山会長 繰り返し出てもいいので、わざわざ「再掲」と、再び載せましたというのを強調する必要はありますかというご意見です。じゃあ、とりましようか。

○斎野統括審議監 はい、会長。

前にも出てたし、何か同じことを書いてあるなみたいなことに言われるかなというので、「再掲」はつけてはいるんですけども。例えば、60ページ読んだ後に69ページ、同

じこと書いてあるやんかという。くどいようでしたら、消すのは全然構いませんけれども。

○西山会長 徳田委員、何かどうです。どう。

○徳田委員 ほかに「再掲」と前のほうありますか。ここで初めて出てくる。

○河原審議監 避難と減災のところに出てくるんで。

○徳田委員 でも、取り組みは言えば前の章と違うところなんで、避難対策のほうで、また改めて自主防を意識してほしいというので、何でわざわざ「再掲」書いてるんだろうというふうな疑問のほうが多いかなとは、私は。

○桐野局長 その前でいきますと、27ページなんですけど、表題のところ「再掲」ということで書いてあります。その前の24ページを受けて27ページに再掲という形です。

○倉森委員 括弧書きの太字が気になるかもしれないです。27ページは余り。

○徳田委員 27ページの「再掲」と違う形になってる。

目立たさなくていいです。

○西山会長 じゃあ、そうしましょうか。

○徳田委員 つけてるんならね。

○西山会長 はい。強調する形にしないという形で。

○桐野局長 はい。

○西山会長 大体出尽くしましたですかね。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 そしたら、最後、今後に向けて、お願いいたします。

○山川課長 はい。それでは、73ページ、これは第3章の今後に向けての項です。

74ページのほうの右側のほうの図3-1の浸水対策全体のロードマップでございますが、これは5ページから72ページまでの施策ごとの行動計画で触れた施策を計画的に実行して、3ページにあります将来の姿と当面の目標などに示す浸水対策の目標を達成することをあらわしております。

前回の協議会での指摘を受け、定量的指標の設定について再考いたしまして、市で進捗管理できないものについて、進捗率のかわりに定性的な行動に変更いたしました。また、見やすいように表を拡大しております。この浸水対策全体のロードマップについては、2ページの体系図と対比できるように掲載してはというご意見が前回ございましたが、2ページの体系図は岡山市の浸水対策に対する取り組みの全体像を最初に示す役割を

持っており、この全体のロードマップは2章の個別施策の総まとめの役割を担っているため、現行どおりの位置に記載としております。

続きまして、75ページからが参考資料の用語集で、33個の用語の解説を掲載しております。

また、82ページからが参考資料として防災リンク集を作成しまして、7つの計画や制度などの簡単な説明とホームページのURLを掲載いたしております。

以上が前回協議会でご審議いただいた行動計画や修正や変更をした箇所の説明となります。

○西山会長 はい、もうこれ残りで今後に向けてと用語集とか出てまいります。事務局とも相談いたしましたけど、74ページのところのロードマップの取り扱いですけども、ひとつずつ見ていって、最後にもう一度全体計画を見ていただくという形で、前回74ページの図の3-1は前に持っていったらいいんじゃないかというご指摘ありましたが、やはり最後もう一度、総まとめの意味で図3-1を載せておくのも悪くないなという構想で判断させていただきました。

委員の皆様方には、そこでご了解いただきたいのと、図3-1ですね、あとは用語集とか専門家の各委員の先生方、また改めて見ていただくとして、全体のロードマップ見ていただいて何か気になるところありましたら是非ともご指摘いただきたいのと、後ろからこれ、全体見ました。全体見て、また改めて前半と後半でちょっとそごが出てるとか、後ろのほうから、また前のほうから見て何かお気づきのところありましたら、またご指摘いただきたいんですけども、何かございますでしょうか。

はい、徳田委員、お願いします。

○徳田委員 この間言ったんですけど、このロードマップ、ちょっと文字が小さいかなと。左側の縦位置の文字ぐらいは、もうちょっと大きくしてもいいかなと思うんですけど。

○西山会長 全体的な取り扱いもあるし、これはできるだけもうちょっと大きくする。考える余地があるところは是非してくださいと。

○徳田委員 それと、リンク集のところ、このURLを打つ人は、まずいらっしやらないですよ。岡山市浸水対策基本計画と打てば、もうこれにちゃんとこれが一番出るのがどうかを確認されてるかどうか知りたい。

○西山会長 この言葉を入れたら、ハザードマップと入れたら、本当に岡山市が出るかど

うかは別ですよ。

○徳田委員 そうですよ。私もまずこのWWは打ちませんから。

○西山会長 ちょっと長いですよ、確かに。

○西村委員 これ自体はホームページかなんかに出るんですか。

○斎野統括審議監 出ます。

○西村委員 ということは、ホームページを見ていくと、これで行くということですよ。だから、なくてもいいのかなとは思いますが。

○徳田委員 いや、これはいいですよ。

○西山会長 キーワードで入れるやつですよ。

○徳田委員 キーワードで検索できるのかどうか。ハザードマップは岡山市までは常識として皆さん入れられると思うので、ほかの分で、旭川とか。この岡山市……。

○西山会長 ここに飛ぶキーワードですよ。ハザードマップのところは……。

○徳田委員 いいと思いますけど、確認をね。これはURLをちゃんと打つ人は打つだろうけれども、このキーワードで打った場合は出るのかなというのがちょっと気になっただけで、確認だけです。

○河原審議監 一部はチェックして出てるんです。一番上に出るかどうかなんですけど……。

○徳田委員 一番上じゃなくてもいいんですけど。

○河原審議監 最初のページに出てたんですけど、全体をまだ、ごめんなさい、チェックはできてなかったんで、改めて確認をさせていただいて。

○西山会長 これ、西村委員から出たけど、徳田委員の意見も入れて、1回、ホームページから行くんで、このURL見たら、大体city.okayama.jpから全部行く。

○徳田委員 岡山市を開いて、これを打てば……。

○西山会長 ホームページを開いてくださいかなんか、ちょっとあったほうがいいかもしれませんね。

○河原審議監 ですね。岡山市のホームページの検索画面で行くと、ほぼほぼ出てくるんですけど。

○西村委員 多分そうです。

○徳田委員 それがわかれば。

○河原審議監 その辺を誘導できるようなところを整理して。

○西山会長 ですから、まずは岡山市のホームページをご覧くださいですが最初にあって…
…。

○徳田委員 あるといいですね。

○西山会長 その中でということがわかる記載のほうがよろしい。徳田委員、ありがとうございます。そのほうがよろしいかと思えますね。

はい、倉森委員。

○倉森委員 すみません。51、52にところも g e s u i _00011というのがあるんですけども、両方検索の名前が違うんですけど、その確認もあわせてお願いします。片っ方は「雨水流出抑制対策の手引き」で、右のページは「雨水貯留タンク」で検索とあるんですけど、両方で検索できるキーワードを書かれたら統一できるかなと思まして。

○西山会長 それはお願いします。51、52、同じURLなのに引き方の文言が変わっていると。わかりました。

○桐野局長 はい、そうですね。

○齋藤（光）委員 ちなみになんですけど、この最後の用語集のURLが出てる中で、何か2次元バーコードとかでここに行けるとかというのはないかというのと、それから多分皆さん結構今スマートフォン使ってらっしゃる方が多いと思うので、スマホでそのまま見れるというふうなものがあると一番ね、パソコンで見るよりも思ったんですけど。

○徳田委員 若者へのそういう興味をさせようと思ったら、バーコードがあったらいいですよ。

○西山会長 ちょっとチェックしていただきまして。

さて、各委員の先生方、ご専門のところ改めてかいつまんでみていただきまして、全体見ての中からご自身のご専門の部分、何か気になるところありましたら、最後ご指摘お願いしたいんですけど、よろしいでしょうか。

はい、齋藤委員。じゃあ、齋藤委員、お願いします。

○齋藤（光）委員 33ページの、すみません、戻っちゃうんですけど。○流量の表記のところで、 m^3 が3が上つき文字になってないのがあったので、これを修正をお願いします。

○西山会長 はい、お願いします。

○西村委員 2ページの2番目の都市機能の確保から流域対策側へ筋は行ってないんです

けど、これは行かなくていいんですかね。何かこの右とのラップの関係からいくと、筋がないと。

○西山会長 どこへ入れましょうか。

○西村委員 都市機能の確保、流域対策。

○河原審議監 これ、委員言われるとおりです。どこかで線が飛んじゃってます。

○西村委員 そしたらあと、74ページは2番目から3番目には筋が入ってるんですけど、1番目から2番目の筋がない。ラップしてればわかるといえばわかるんですけど、ラインがない。ライン消しちゃってもいいのかなという気がするんです。

○齋藤（美）委員 これ、つないでる線、要らない。

○西村委員 要らない気はしますよね。

○齋藤（美）委員 そうですね。もうカラーのグラデーションで。

○西山会長 じゃあ、もうこの線、削除。もう全て。

○西村委員 ただ、2ページの点線のところはあってもいいのかなという気はするんですけど。

○西山会長 そしたら、2ページの点線だけ残す。

○河原審議監 はい。

○西山会長 あとの対応の棒ですね、実線は削除。じゃあ、74ページの実線もよろしいですね、削除。

○西村委員 2ページは、これ、上から下へ色、わざとグラデーションがついてるんですかね。

○河原審議監 はい。

○西村委員 74は……。

○西山会長 つけましょう。

○西村委員 ついてないんでというような。

○西山会長 一番左の端のコラムですね。せっかく重なってるから、2ページの上から青から順番に緑になって、かなりこれは工夫されてる。じゃあ、74も揃えてくださいということ。お願いします。

ほかよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 あと、全体的にまたお持ち帰りいただいて見て、先生、ご意見のあるところ

は、またご指摘いただきたいんですけども。行動計画（案）ですけども、全体通じて、少し安倉委員からご発言ありまして、勘違いしないことももう一度ご指摘ありましたけども、全体的に内容はこれでご承認いただいたということで、あとレイアウト等は各委員からご指摘の、もし疑問がありましたら、もう各委員に。この委員会でもう承認して、修正はもう委員にお任せするという形で、またすみません、各委員の先生方、宿題出したかもしれませんけども、もう個別に対応して、委員の先生がオーケーと言えばこの委員会がもう承認したという形で進めたいと思いますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

じゃあ、各委員の先生方、個別に相談に行かれた場合は、この委員会代表してという責任を負って、是非ともご指摘お願いいたします。委員の先生方にご承認をお任せしますので。

それでは、ちょっと時間押しましたけども、今後のスケジュール、資料－3、ご説明お願いします。

○瀬島課長 はい。それでは、その他ということで、今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

お手元の資料－3をご覧ください。

今回議論していただきました内容を踏まえまして、行動計画の修正を行いまして、今年度中に行動計画を作成し、来年度4月1日から行動計画に基づき浸水対策を実施していきたいと考えております。行動計画が完成した暁には、委員の皆様に行動計画を配付するとともに、市のホームページ等で一般に公開する予定としております。

まず、来年度以降の協議会につきましては、年2回開催を予定しております。時期としましては、出水期前の4から5月頃に、行動計画を踏まえ、この年度にどのような取り組みをしていくかについてご議論していただく予定としております。その後、出水期が終わりました10から11月頃に、取り組み結果のフォローアップ及び今後の改善点についてご議論していただきたいと考えております。行動計画等できました後には、年2回という形の開催を考えております。

それとあと、長期の予定としましては、概ね5年と10年後に短期・中期の目標に対するフォローアップ等の会議を実施する予定としております。

最後になりますけれども、委員の皆様方におかれましては、本協議会の委員、これ、任期につきましては、2年間、平成31年4月2日までとなっておりますので、引き続き来年

度もご指導等よろしく申し上げます。

事務局からは以上でございます。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

最後ちょっと提起ありましたけども、このまま自動継続で委員の先生方、お願いしたいと思えます。何かございましたら、年度がわりで自分のちょっと変えてほしいとか出席できないことありましたら、またこれは随時ご指摘ください。

資料-3のスケジュールに戻ります。何か委員の先生方、ご気になることありますか。聞いておきたいことありましたら。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 毎年2回開催という形で進めさせていただきたいと思うんですけども、またこれ、この計画自身は最終案はいつ、最終案は、完成版はいつ目標になるんですかね。これで年度内ですよ。

○桐野局長 そうですね。今度市議会のほうでもちょっとご意見をお聞きした上で、そのご意見も踏まえた上で修正等々をやっていきたいと思えますので、一応3月中ということ。

○西山会長 今年度中という形で。

また、市民の皆様方の目に触れたら、いろいろ市民からの意見あるかもしれませんけども、それはまた、そのときは随時何らかの形で開催するか、またメール等々、あるいは各委員の先生方、ここに意見に従うという形をさせていただきたいと思えますので、協議会自身は毎年2回開催という形で、来年度も引き続きよろしくお願ひしたいということになります。是非ともご検討ください。

それでは、全体的に何か委員の皆さん、お気づきのところありましたら、ご指摘いただきたいんですが。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 なければ、もう事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

○瀬島課長 はい、ありがとうございました。

最後に、確認なんですけれども、今回の議事録署名人につきましては、両齋藤先生でよろしいでしょうか。

○西山会長 はい、そうですね。それでお願いいたします。

○瀬島課長 はい。すみません、両齋藤先生、よろしく申し上げます。

それでは、これにて平成29年度第5回の岡山市浸水対策推進協議会を閉会といたします。どうも長時間ありがとうございました。

午前11時35分 閉会